

エコアクション21

2023年度 環境活動レポート

対象期間：2023年9月～2024年8月



Recycle Ecology Hayashi

株式会社アール・イー・ハヤシ

〒140-0002 東京都品川区東品川1丁目14番5号

TEL.03-3472-3054

www.r-e-hayashi.co.jp

発行日：2024年11月



Copyright © 2023 RE hayashi Inc. All Rights Reserved.

目次

	作成者	管理部
1. 組織の概要		1~7 頁
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日		7 頁
3. 環境方針		8 頁
4. 環境経営目標		9 頁
5. 環境活動計画		10~12 頁
6. 環境経営目標の実績		13 頁
7. 環境活動計画の取組結果(年間グラフ)		14 頁
8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容		15 頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟等の有無		16 頁
10. 代表者による全体評価と見直しの結果		17 頁
11. 環境活動の現況		17 頁
12. 処理施設の概要		18 頁
13. 処理工程図		19 頁



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

株式会社アール・イー・ハヤシ

代表取締役 安田 真之



2) 設立 1986年12月

3) 資本金 3,000万円

4) 所在地

本社 東京都品川区東品川1丁目14番5号
TEL 03-3472-3054

リサイクルセンター 東京都大田区東糞谷1丁目7番1号
TEL 03-3743-9888

大井事業所 東京都品川区南大井1丁目17番7号-115.事務所1
TEL 03-6821-7251

5) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 中村 直人 電話 03-6821-7251

環境管理担当者 桑山 慎(退職済) 電話

電子メール nakamura@r-e-hayashi.co.jp

ホームページ <https://www.r-e-hayashi.co.jp>

6) 事業内容

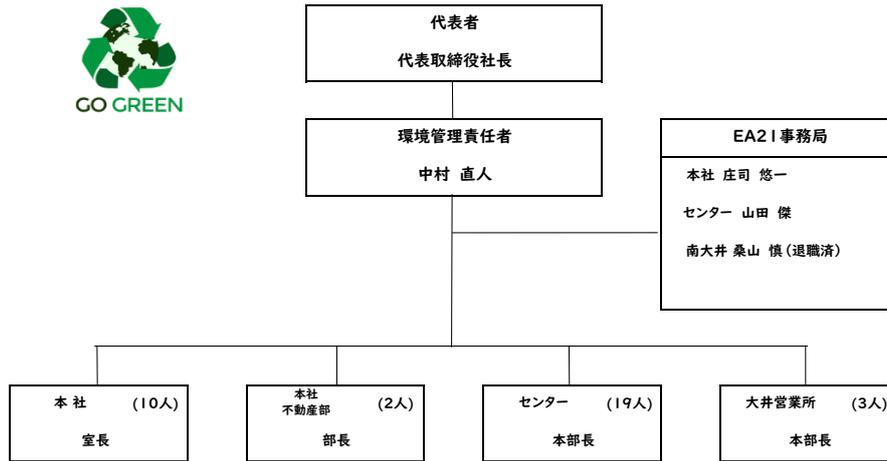
一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処分業
各種古物の回収、販売業 不動産業

7) 事業の規模

事業規模	単位	2024年度	2023年度
売上高	百万円	1071	1319
従業員数	人	35	35
床面積	m ²	708	708
産業廃棄物収集運搬量	t	3870	4517
産業廃棄物処理量	t	3886	4513

8) 実施体制・エコアクション21組織図

2024年09月01日現在



役割	責任・権限
代表者	<ol style="list-style-type: none"> 取組の対象組織・活動の明確化 環境管理責任者の任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境方針を定め全従業員に周知、誓約する 環境経営を实践する為、必要十分な実施体制の構築 実施体制においての各自の役割、責任、権限を定め従業員に周知する 実施及び管理に必要な経営資源(人、もの、資金、情報等)を用意する
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 環境管理システムを構築、実施、管理 環境への負荷及び取組の自己チェックの確認、承認 法規制などの遵守状況をチェック 環境方針の案作成及び環境目標の設定 環境活動実施計画及び実績の確認・集計・評価 問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置 環境活動取組結果の代表者への報告 環境関連の外部コミュニケーションの実施
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> 環境経営システム運営のすべての事務 環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し環境管理責任者へ報告 環境関連法規など法規の取りまとめ及び遵守状況チェックリストを作成し報告 環境活動計画、運用手順書を作成し実施達成状況を集計し環境管理責任者に報告 文書及び記録の管理保管 従業員に対する教育訓練の実施 特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 自部門における環境管理システムの実施 自部門の従業員に対する環境訓練の実施 自部門に関する環境目標及び環境活動計画の実施、達成状況の報告 自部門に必要な環境関連手順書の作成、運用管理 自部門に必要な緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト、訓練、記録 自部門の問題点の発見、是正、予防措置
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り自主的・積極的に環境活動へ参加

9) 許認可の内容

(1-1) 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

優マークは、優良認定済み

都道府県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	積替 保管	許可品目
優 東京都	01310016683	令和05年12月18日 令和12年12月17日	有	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他9種類
神奈川県	01402016683	令和02年09月21日 令和07年09月28日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他9種類
優 千葉県	01200016683	令和06年06月20日 令和13年06月19日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他5種類
優 埼玉県	01101016683	令和06年05月24日 令和13年05月08日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他6種類
茨城県	00800016683	令和02年10月21日 令和07年08月16日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他9種類
栃木県	00900016683	令和02年08月01日 令和07年07月31日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他9種類
群馬県	01000016683	令和02年09月29日 令和07年09月28日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他9種類
優 山梨県	01900016683	令和05年02月20日 令和12年02月19日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他9種類
静岡県	02201016683	令和02年09月14日 令和07年09月13日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他6種類
愛知県	02300016683	令和03年03月24日 令和08年03月14日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他9種類
京都府	02600016683	令和02年11月16日 令和07年11月04日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他6種類
大阪府	02700016683	令和03年04月11日 令和08年04月10日	無	廃プラスチック類・紙くず・木くず・金属くず・繊維くず ガラス・コンクリート陶磁器くず・がれき類、他9種類

(1-2) 積替え保管施設の面積・保管上限

- ① 所在地: 東京都大田区東糺谷1丁目7番1号
積替え保管面積: 832.85㎡ 最大保管高さ: 1.5m

(2) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧

都道府県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	積替 保管	許可品目
東京都	01357016683	令和06年04月13日 令和11年04月12日	無	①廃油(揮発油類、灯油類、軽油類) ②廃酸(pH2.0以下のもの) ③廃アルカリ(pH12.5以上のもの) ④特定有害廃棄物(廃石棉等)
神奈川県	01452016683	令和06年04月16日 令和11年04月15日	無	①廃油(揮発油類、灯油類、軽油類) ②廃酸(pH2.0以下のもの) ③廃アルカリ(pH12.5以上のもの) ④特定有害廃棄物(廃石棉等)
千葉県	01250016683	令和06年05月14日 令和11年04月29日	無	①廃油(揮発油類、灯油類、軽油類) ②廃酸(pH2.0以下のもの) ③廃アルカリ(pH12.5以上のもの) ④特定有害廃棄物(廃石棉等)

(3) 産業廃棄物処分業許可一覧

都道府県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	業の 区分	処分 方法	許可品目
東京都	01320016683	令和05年12月18日 令和12年12月17日	中間 処分	破砕 圧縮梱包	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、 ゴムくず、金属くず、ガラスコンクリート陶磁器 くず、がれき類、以上8種類

(4) 一般廃棄物収集運搬業一覧

許可自治体	許可番号	許可年月日 及び有効期限	業の 区分	取り扱う一般廃棄物の種類 運搬先
品川区	第778号	令和05年06月01日 令和07年05月31日	収集 運搬	普通ごみ 区長が指定する処理施設
大田区	第778号	令和05年06月01日 令和07年05月31日	収集 運搬	普通ごみ 区長が指定する処理施設
渋谷区	第778号	令和05年06月01日 令和07年05月31日	収集 運搬	普通ごみ 区長が指定する処理施設
江東区	第778号	令和05年06月01日 令和07年05月31日	収集 運搬	普通ごみ 区長が指定する処理施設
杉並区	第778号	令和05年06月01日 令和07年05月31日	収集 運搬	普通ごみ 区長が指定する処理施設

(5) 受託した廃棄物の処理量

(1) 産業廃棄物の収集運搬量

*小数点2以下切捨て

処理 区分	産業廃棄物の種類	2024年度 (4月～3月)	2023年度 (4月～3月)
収集 運搬	汚泥	1.39 t	1.40 t
	廃油	0.88 t	0.88 t
	廃酸	0.00 t	0.00 t
	廃プラスチック類	778.92 t	1183.62 t
	金属くず	2816.98 t	2776.06 t
	ガラスコンクリート陶磁器くず	131.34 t	227.52 t
	がれき類	0.46 t	85.39 t
	紙くず	0.63 t	0.69 t
	木くず	139.79 t	12.62 t
	動植物残さ	0.27 t	0.27 t
収集運搬量合計		3870.66 t	4288.45 t

※小数点第三位四捨五入

(2) 産業廃棄物の処分量

処理 区分	産業廃棄物の種類	2024年度 (4月～3月)	2023年度 (4月～3月)
中間 処分	廃プラスチック類	794.58 t	737.45 t
	金属くず	2793.68 t	2706.97 t
	ガラスコンクリート陶磁器くず	142.22 t	140.93 t
	がれき類	0.46 t	0.46 t
	紙くず	0.63 t	0.63 t
	木くず	155.20 t	146.55 t
中間処分量合計		3886.77 t	3732.99 t

※小数点第三位四捨五入

(6) 運搬車の種類、台数、低公害車の導入状況一覧

(1) 運搬車の種類、台数

車輦名	台数
・4tトラック	11台
・2tトラック	7台
・7tトラック	1台
・商用バン	1台
・4t塵芥車(特管を除く)	1台
・4t塵芥車(一廃)	1台

(2) 低排出ガス車の導入状況

運搬車の排ガスレベル		台数(割合)	
全保有台数		24台	(100%)
①	使用車種規制(NOx・PM)適合	10台	(41%)

[低排出ガス車の導入目標]

*買替の際には低排出車両を導入する

(3) 低燃費車の導入状況

運搬車の燃費低減レベル		台数(割合)	
全保有台数		24台	(100%)
①	平成27年度燃費基準達成車	13台	(54%)
低燃費車の導入台数		13台	(54%)
[低燃費車の導入目標]		  	
*買替の際には低燃費基準達成車両を導入する			

(4) 環境保全対策

1. 運搬中の荷崩れによる廃棄物の飛散、流出、漏れを防止する為、必ずシート、又はロープを使用する
2. 流出拡大防止の為、清掃用具などの対策用品を全車に常時装備する
3. 廃棄物の性状に合わせて適切な容器を使用する
4. タイヤ及び荷台に廃棄物を付着させたまま運搬しないように、常に洗車、清掃を実施する
5. 過積載にならないように十分注意する

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

- 1) 対象範囲は「1.4)所在地」欄及び「1.6)事業内容」欄に記載



I. 本 社



II. リサイクルセンター



III. 大井営業所

- 2) レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載

3. 環境方針

環境方針

[企業理念]

「限りある資源を大切に」これが私たちの理念です。アール・イー・ハヤシは、地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、廃棄物の再資源化に努め、資源循環型社会の実現に向けて貢献します。常に自然環境への配慮、自然社会の一員として二酸化炭素削減に努めます。

[環境経営の指針]

当社アール・イー・ハヤシは、循環型社会形成に向けた[5R]活動を行うにあたって、環境保全活動に取り組んで参ります。その行動方針としてこの環境経営方針を定め、環境に対して著しい影響を与えないよう環境保全の推進及び継続的改善と共に、お客様満足の一層の追及を推進し実行致します。また、苦情・相談等の各種お問い合わせに誠意を持って対応します。

[環境経営への取組の基本的方向]

1. 二酸化炭素排出量の削減

- ①施設設備及び照明設備の省エネ化により電気使用量の削減に努めます。
- ②エコドライブの徹底により車両等の燃料使用量削減に努めます。
- ③その他化石燃料使用量削減に努めます。

2. 廃棄物排出量の削減

- ①事業所から発生する一般廃棄物の削減に努めます。
- ②選別強化により産業廃棄物の発生を抑制すると共に適正処理を行います。
- ③資源の有効利用とリサイクルを推進します。

3. 水使用量の削減

- ①事業所内の水使用量の削減に努めます。

4. 条約・法令の遵守

- ①環境関連法規等を遵守し、環境保全活動に積極的に取り組みます。

5. 自らが提供するサービスの改善

- ①環境教育を行うことで、全従業員に環境方針を周知し意識の向上を図ります。

本方針は、全従業員に周知徹底し、一般の方に公開致します。

制定2022年9月1日

株式会社アール・イー・ハヤシ
代表取締役 安田 真之



4. 環境経営目標

No	環境方針項目	環境目標項目	基準値			CO2 換算係数	年度目標(対基準値)					
			2021年度				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度		
			施設別	電力使用量(kWh)	発分量(t)		kWh	基準値対 1.0%削減	基準値対 1.5%削減	基準値対 2.0%削減	基準値対 2.5%削減	
1	 二酸化炭素 排出量の削減  	1)	電力使用量の削減	施設別	電力使用量(kWh)	発分量(t)	kWh	kg-CO2	基準値対 1.0%削減	基準値対 1.5%削減	基準値対 2.0%削減	基準値対 2.5%削減
				本社	10678	-	10678	0.398	10571	10518	10464	10411
				大井事業所	6322	-	6322	0.398	6258	6227	6195	6164
				センター	14088	-	14,088	0.462	13947	13877	13806	13736
				施設別	電力使用量(kWh)	発分量(t)	kWh/t		kWh/t以下	kWh/t以下	kWh/t以下	kWh/t以下
				センター(高压)	31378	5152.72	6.0896	0.411	6.0287	5.9983	5.9617	5.9318
		2)	化石燃料消費量の削減	油種別消費量				基準値対 2%削減	基準値対 3%削減	基準値対 4%削減	基準値対 5%削減	
				443				434	430	425	421	
				灯油(ℓ/年)			2.49	ℓ/年以下	ℓ/年以下	ℓ/年以下	ℓ/年以下	
				1081			CO2排出量	1081	1071	1058	1047	
				都市ガス(㎡/年)			2.16	㎡/年以下	㎡/年以下	㎡/年以下	㎡/年以下	
				379			CO2排出量	801	795	1058	1047	
				ガソリン(ℓ/年)			2.32	ℓ/年以下	ℓ/年以下	ℓ/年以下	ℓ/年以下	
				4640			CO2排出量	10549	10442	10333	10229	
				※2	軽油(ℓ)	運搬距離(km)	ℓ/100km	2.58	基準値対 2%削減	基準値対 3%削減	基準値対 4%削減	基準値対 5%削減
75441.13	377233				19.9985	ℓ/100km以下	ℓ/100km以下		ℓ/100km以下	ℓ/100km以下		
計(kg-CO2)			230979.48		226360.00	224050.09	224050.00	221740.00				
			kg-CO2/年		kg-CO2/年以下	kg-CO2/年以下	kg-CO2/年以下	kg-CO2/年以下				
2	水使用量の削減	水使用量の削減	施設別	水道使用量(㎡)			-	基準値対 1.0%削減	基準値対 1.5%削減	基準値対 2.0%削減	基準値対 2.5%削減	
			本社	73				72.27	71.9	71.54	70.64	
			大井事業所	58.29				57.42	57.13	56.84	56.55	
			センター	515				510	507	505	503	
			センター破砕機	51.25				50.99	50.73	50.47	50	
			㎡/年					㎡/年以下	㎡/年以下	㎡/年以下	21	
3	環境配慮	受託した産業廃棄物処分における環境への配慮	再資源化(リサイクル)率			%	基準値対 1.0%増加	基準値対 1.5%増加	基準値対 2.0%増加	基準値対 2.5%増加		
			85.20					86.05	86.48	86.90	87.33	
			%/年		%/年	%/年	%/年	%/年				

種別	2022年度(t)
中間発分量 ※1	4,514.77
収集運搬量 ※2	4,511.11

※1 電気使用量(センター)の目標については、電気使用量(kWh)÷中間発分量にて算出しました。
 ※2 軽油使用量項目については、軽油基準値は、(ℓ÷走行距離)×100にて算出しました。
 他、水道使用量分離や新事業所設置に伴い各次年度基準値の見直しを行います。
 ※3 リサイクル率の基準値を2021年度に設定し目標値を年/0.5増に変更しました。

5. 環境活動計画(1)

No	環境方針項目・環境目標項目	基準値	目標値	具体的な内容	実績評価項目	実績評価項目												年度計			
						7月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減 本社	電気使用量 10,678 <kWh/年> 889.83 <kWh/月>	基準値の 1.0%削減 10,571 <kWh/年> 880.93 <kWh/月>	・空調機のフィルター清掃 ・エアコン温度の管理 ・待機電力を出来る限り減らす ・照明機器の適切な店頭動力の過負荷運転を減らす	電力 kWh	活動計画	具体的な内容の表示と活動開始														
						進捗評価	○												○		
						目標値	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	880.93	10571.16
						実績値	703	655	604	775	932	785	859	579	624	750	100	908	9180	9180	
	目標累計	703	1358	1967	2742	3674	4459	5318	5897	6521	7271	8272	9180	9180	9180						
	実績累計	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△	△	○	○						
	達成評価	○												○							
	1) 電力使用量の削減 中事	電気使用量 6,322 <kWh/年> 526.83 <kWh/月>	基準値の 1.0%削減 6,228 <kWh/年> 519 <kWh/月>	・空調機のフィルター清掃 ・エアコン温度の管理 ・待機電力を出来る限り減らす ・照明機器の適切な店頭動力の過負荷運転を減らす	電力 kWh	活動計画	具体的な内容の表示と活動開始														
						進捗評価	○												○		
						目標値	544	544	544	544	544	544	544	544	544	544	544	544	544	6528	
						実績値	45	394	512	503	395	594	584	423	521	590	879	6526	6526		
	目標累計	45	394	912	1415	1910	2404	2988	3572	4155	4739	5323	5907	6491	6526						
	実績累計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
	達成評価	○												○							
	1) 電力使用量の削減 産廃廃棄物中間処理場	電気使用量 14,088 <kWh/年> 1,174 <kWh/月>	基準値の 1.0%削減 13,847 <kWh/年> 1,162 <kWh/月>	・空調機のフィルター清掃 ・エアコン温度の管理 ・待機電力を出来る限り減らす ・照明機器の適切な店頭	電力 kWh	活動計画	具体的な内容の表示と活動開始														
						進捗評価	○												○		
目標値						1162	1162	1162	1162	1162	1162	1162	1162	1162	1162	1162	1162	1162	13947.120		
実績値						1589	1213	808	851	1105	1288	1169	1188	828	919	1530	1558	14042.000	14042.000		
目標累計	1589	2802	3610	4461	5566	6854	8023	9211	10400	11589	12779	13969	15159	16349							
実績累計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
達成評価	○												○								
1) 電力使用量の削減 ター	電気使用量 6.029 <kWh/処分量> 31,378 <kWh/年>	基準値の 1.0%削減 6.029 <kWh/年> 31064 <kWh/年>	・壊碎機 ・圧縮梱包機 ・コンプレッサー ・切断機 ・バックホウ	電力 kWh	活動計画	具体的な内容の表示と活動開始															
					進捗評価	○												○			
					目標値	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029	6.029		
					実績値	31789	11241	12326	12883	11439	9383	4777	9082	7633	7595	5925	11281	4015	31064		
目標累計	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69	2588.69							
実績累計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
達成評価	○												○								

※目標値と実績値、及び目標値と目標累計値、両方達成で○、どちらか未達成なら△、両方未達成の場合は×表記になります。

5. 環境活動計画(2)

No	環境方針項目・環境目標項目	基準値	目標値	具体的な内容	実績評価項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	年度計			
1	2) 化石燃料消費量の削減 	化石燃料消費量	基準値の2.0%削減	・長時間停車時アイドリングストップ実施 ・運行前点検及び車両整備	化石燃料	活動計画 表示と活動開始															
		灯油<ℓ/年>	灯油<ℓ/年>	の徹底	灯油	目標値	36	36	36	36	37	37	36	36	36	36	36	36	36	434	
		443	434	・エコドライブの推進	L	実績値	0	0	0	36	180	0	0	0	0	0	0	0	0	216	
		都市ガス(m³/年)	都市ガス(m³/年)	・積載物の適正荷重厳守	都市ガス	目標値	30	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	371
		379	371	・最低公害、低燃費基準	m³	実績値	12	15	21	37	51	42	46	28	19	18	16	15	15	320	
		ガソリン(ℓ/年)	ガソリン(ℓ/年)	・達成車への代替推進	ガソリン	目標値	378	379	379	379	379	379	379	379	379	379	379	379	379	379	4547
		4,640	4,547	・デジタルタコメーターに	L	実績値	344.02	257.2	231.13	356.1	211.8	220.8	309.37	236.4	320.78	358.5	389.49	356.5	3592.04		
		軽油(ℓ/年)	軽油(ℓ/年)	よる運行状況の把握	軽油	目標値	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	19,599	
		19,999	19,599	・休憩所にエアコン設置	(L→距離)×100	実績値	16,526	16,903	16,948	20,699	16,811	19,037	17,933	16,925	20,130	17,224	18,872	21,367	16,792		
		194,638 t	190,745 t		(L→距離)×100	実績値	5420.59	5302.85	5287.00	5778.94	4235.37	5560.29	6468.54	5679.49	4286.95	4943.74	5878.47	5322.50	64164.73		
	75441.13ℓ	73932.30ℓ		軽油使用量(L)	実績値	32801	31373	31195	27919	25194	29208	36070	33557	21296	28702	31149	24910	353374			
				走行距離(km)	実績値	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	226360	
	計	230979 <kg-CO₂/年>	226359 <kg-CO₂/年>	[数値目標/実績]	CO₂排出	目標値	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	18863	226360	
		19248 <kg-CO₂/月>	18863 <kg-CO₂/月>		kg	目標累計	18863	37726	56589	75452	94315	113178	132041	150904	169767	188630	207493	226356	226356		
						実績値	17883	16262	16771	17933	14389	17769	20378	18216	13975	15691	19108	27110	215486		
					実績累計	17883	34145	50916	68848	83238	101007	121385	139601	153577	169268	188377	215486	215486			
					達成評価	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	▲	▲				
2	水道 使用量削減 	水道使用量	基準値の1.0%削減	・節水表示、こまめな節水 ・洗車時の適正水量 ・水の漏洩点検の実施	水道使用量	活動計画 表示と活動開始															
		73 <m³/年>	72.27 <m³/年>		m³	目標値	12.05		12.05		12.05		12.05		12.05		12.05		66.25		
		12.17 <m³/月>	12.05 <m³/月>		実績値	9.00		7.00		8.00		7.00		8.00		8.00		8.00		47.00	
	水道 使用量削減 	水道使用量	基準値の1.0%削減	・節水表示、こまめな節水 ・洗車時の適正水量 ・水の漏洩点検の実施	水道使用量	目標値	9.57		9.57		9.57		9.57		9.57		9.57		57.42		
	58.29 <m³/年>	57.42 <m³/年>		m³	目標累計	9.57		19.14		28.71		38.28		47.85		57.42		57.42			
	9.72 <m³/月>	9.57 <m³/月>		実績値	6.00		8.00		7.00		7.00		7.00		8.00		8.00		44.00		
大井事業所				実績累計	6.00		14.00		21.00		28.00		36.00		44.00		44.00				
					達成評価	○		○		○		○		○		○		○			

※目標値と目標累計値、両方達成で○、どちらか未達成なら▲、両方未達成の場合は×表記になります。

5. 環境活動計画(3)

No	環境方針項目・環境目標項目	基準値	目標値	具体的な内容	実績評価項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	年度計				
2	水道 使用量削減 	水道使用量 515 <m³/年> センター (破砕機分も含む) 85.83 <m³/月>	基準値の 1.0%削減 510.00 <m³/年> 85 <m³/月>	・節水表示、こまめな節水 ・洗車時の適正水量 ・水の漏洩点検の実施	水道 使用量 m³	目標値	85		85		85		85		85		85		510			
					目標累計	85		170		255		340		425		510						
					実績値	59.00		63.00		56.00		58.00		60.00		63.00						359.00
					実績累計	59.00		122.00		178.00		236.00		296.00		359.00						
					達成評価	○		○		○		○		○		○		○		○		○
	水道 使用量削減 	水道使用量 51 <m³/年> センター破砕施設 8.54 <m³/月>	基準値の 1.0%削減 50.99 <m³/年> 8.50 <m³/月>	・節水表示、こまめな節水 ・洗車時の適正水量 ・水の漏洩点検の実施	水道 使用量 m³	目標値	8.50		8.50		8.50		8.50		8.50		8.50			50.99		
					目標累計	8.50		17.00		25.50		33.99		42.49		50.99						
					実績値	1.00		2.00		2.50		1.70		2.70		2.40						12.30
					実績累計	1.00		3.00		5.50		7.20		9.90		12.30						
					達成評価	○		○		○		○		○		○		○		○		○
3	受託した産業廃棄物処分における環境の配慮 	再資源化率 (リサイクル) 85.20 <%/年>	基準値の 1.0%増加 86.05 <%/年>	・再資源化率向上推進 ・選別・仕分けの徹底	リサイクル率	活動計画	具体的な内容の表示と活動開始 →															
					進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					目標値	86.05												86.05				
	グリーン購入推進 	グリーン商品購入 年間5品目以上維持 年間5品目以上/年	・グリーン購入推進 ・カーボンオフセット優先 購入 ・省エネ型製品優先購入	環境配慮	活動計画	具体的な内容の表示と活動開始 →																
				進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				目標値	省エネ型エコ商品10品目以上/年												10~					
						実績値	13	4	6	6	10	0	0	8	8	10	0	0	65			

6. 環境経営目標の実績

No	環境方針項目・環境目標項目			2021年度			2023年度				
				基準値			目標	実績		達成度	
1	電力使用量の削減	施設別	電力使用量(kWh)	処分量(t)	kWh・kWh/t	基準値に対し1.0%削減	電力使用量(kWh)	処分量(t)	kWh・kWh/t	%	
			本社	10678	—	10678	10571	9180	—	—	113.16
			大井事業所	6322	—	6322	6258	6526	—	—	95.72
			センター(低圧)	14088	—	14088	13947.000	14042.000	—	—	99.32
			センター(高圧)	31378	5152.72	6.090	6.029	9.015	3031.211	0.003	199.95
			kWh/年	t/年	kWh/t	kWh/t	kWh/t	kWh/年	kWh/年		
	化石燃料消費量の削減	油種別消費量			基準値に対し2.0%削減						
		灯油<ℓ/年>			<ℓ/年>			灯油<ℓ/年>			
		443			425			216			149.23
		都市ガス<m ³ /年>			<m ³ /年>			都市ガス<m ³ /年>			
		379			371.42			320.00			113.84
		ガソリン<ℓ/年>			<ℓ/年>			ガソリン<ℓ/年>			
	4640			4547			3592			121.00	
	軽油(ℓ)		走行距離(km)	ℓ/km	基準値に対し2.0%削減		軽油(ℓ)	走行距離(km)	L/100km		
	75441.13		377233	19.9985	19.59853		64164.73	353374	18.1577	107.35	
計 (kg-CO2)			230979.48			226359.89			215486.00		104.80
			kg-CO2/年			kg-CO2/年			kg-CO2/年		
2	水使用量の削減	施設別	水道使用量			基準値に対し1.0%削減			水道使用量		%
			本社	73	—	72.27	—	47	—	134.97	
			大井事業所	58.29	—	57.42	—	44	—	123.37	
	水道使用量(m ³)	センター(破砕機を含む)	515	—	510.00	—	359	—	129.61		
		センター(破砕機をのぞく)	464	—	510.00	—	346.7	—	132.02		
		センター破砕施設のみ	51	—	50.99	—	12.3	—	175.88		
			m ³ /年			m ³ /年					
3	環境配慮	受託した産業廃棄物の処分における環境配慮			再資源化(リサイクル率)			再資源化(リサイクル率)			101.53
		85.20			85.63			86.94			
	% /年			% /年			% /年				
グリーン購入の推進 <エコ商品購入品目の推進>		エコ商品購入品目			エコ商品購入品目			品目数			1300
		(2021年度実績)			年間5品目以上購入を維持			65			
		全5品目以上/年									

※No1～3の環境目標項目は達成度が100%以下の場合は「×」、100%以上の場合は「O」と評価する。

※No3の環境目標項目は達成度が100%以上、又は取組があれば「O」と評価する。

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No	環境方針項目・環境目標項目	具体的活動内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 ①空調機のフィルター清掃 ②エアコン温度の管理 ③待機電力を出来る限り減らす ④照明機器の適切な点灯 ⑤動力の過負荷運転を減らす	①～⑤については実施済み ・南大井 エアコンの消し忘れがある為、徹底するよう指摘済。	①空調機のフィルター清掃を継続 ②エアコン温度の管理を継続 ③待機電力を出来る限り減らすを継続 ④照明機器の適切な点灯を継続 ⑤動力の過負荷運転を減らすを継続
	化石燃料消費量の削減	①長時間停車時のアイドリングストップ実施 ②運行前点検等の車両整備の徹底 ③エコドライブ推進 ④積載物の適正荷重を徹底 ⑤最新低公害車、低燃費車両への代替を進める ⑥デジタルタコメーターによる運行状況の把握	継続して実施している。 車両の変更等、燃費は削減されているので経過は良好。 引き続き、車両更新のタイミングで環境に良いものに変更を行う。	①長時間停車時のアイドリングストップ継続 ②運行前点検等の車両整備の徹底を継続 ③エコドライブ推進を継続 ④積載物の適正荷重を徹底を継続 ⑤最新低公害車、低燃費車両への代替を継続 ⑥デジタルタコメーターによる運行状況の把握を継続
2	廃棄物排出量の削減	消耗品の廃棄抑制 ①資源ごみ分別の徹底 ②ゴム手袋等を洗濯し再利用 ③再使用、再利用の促進 ④使用方法や廃棄時の状態を確認 ⑤文書等の電子データ化	①～⑤については実施済み 文章に関しては必要なものに関してデータ化を行う。 データ化を意識するあまり、不要なデータが複数個サーバに滞在しているのを確認しているため 無駄なデータを保管せずに、差分管理するよう注意喚起をしました。	①資源ごみ分別の徹底を継続 ②ゴム手袋等を洗濯し再利用を継続 ③再使用、再利用の促進を継続 ④使用方法や廃棄時の状態を確認を継続 ⑤文書等の電子データ化を継続
	廃棄物の適正処理	①選別作業の徹底 ②有価売却の促進 ③SRの推進、リサイクル率アップ	①～③については実施済み ③についてはリサイクル率向上の為、単純焼却 埋立以外の資源化施設との契約推進中	①選別作業の徹底を継続 ②有価売却の促進を継続 ③SRの推進、リサイクル率アップを継続
3	水使用量の削減	水使用量の削減 <水道使用量:㎡> ①節水表示、こまめな節水 ②洗車時の適正水量	①～②については実施済み 紙特機に關してもメーターをつけて水使用量を監視するようになりました。	①節水表示、こまめな節水を継続 ②洗車時の適正水量を継続
4	環境配慮	受託した産業廃棄物処分における環境給への配慮、及びエコ商品購入推進 ①エコマーク商品、グリーンマーク製品、カーボンオフセット等の優先購入 ②省エネ製品等優先購入 ③受託した産業廃棄物処分の再資源化率向上	①～③については実施済み	①エコマーク商品、グリーンマーク製品、カーボンオフセット等の優先購入を継続 ②省エネ製品等優先購入を継続 ③受託した産業廃棄物処分の再資源化率向上を継続



8. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

当社に関する環境関連法規について遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、施設近隣住民からの訴訟、苦情もありませんでした。

関連法規	遵守事項	評価者	評価タイミング	評価	評価日
自動車Nox・PM法	Nox/PM基準不適合車運航禁止(東京都)	業務本部長	購入時常時	○	9月3日
オフロード法	事業者の責務、規制対象車両の使用	業務本部長	購入時常時	○	9月3日
資源有効利用促進法	使用済み物品等の再生資源・再生部品としての利用促進	業務部長	常時	○	9月3日
 廃棄物処理法	処分業の許可更新を5年前に受けていること(法14条)	業務本部長	更新時	○	9月3日
	産業廃棄物処理実績を毎年6月30日までに報告(細則14条3)	環境管理責任者	報告時	○	5月20日
	産業廃棄物に関する帳簿の備付と5年間保管	業務本部長	常時	○	9月3日
	産業廃棄物処理責任者及び技術管理者の設置	業務本部長	技術者選任時	○	9月3日
	一般廃棄物に関し、地区町村による収集運搬業の許可	業務本部長	常時	○	9月3日
	一般廃棄物に関する帳簿の備付と5年間保管	業務本部長	常時	○	9月3日
	マニフェストの交付状況を毎年6月30日までに報告(規8条の27)	環境管理責任者	報告時	○	5月20日
	マニフェストの記録、保管等(5年間)	業務本部長	常時	○	9月3日
自動車リサイクル法	リース契約の為、オートリース社等に返却	業務本部長	返却時	○	9月3日
フロン排出抑制法	フロン機器は回収業者を手配し、抜いてから処理を行う	業務部長	フロン回収時	○	9月3日
労働衛生安全法	事業者の責務、安全衛生管理体制の構築と安全衛生推進者選任	業務本部長	常時	○	9月3日
道路法	法律の遵守、適切な申請	業務本部長	常時	○	9月3日
道路交通法	安全運転義務、交通公害防止の遵守、車両点検整備の義務	安全運転管理者	常時	○	9月3日
道路運送車両法	運行管理者の設置、運転日報の管理	業務本部長	常時	○	9月3日
東京都環境確保条例	環境への負荷低減に関する環境の保全に努める	業務本部長	常時	○	9月3日
廃棄物の減量及び適正に関する条例	廃棄物の発生を抑制し再利用促進等により廃棄物の減量を図る	業務部長	常時	○	9月3日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正処理する	業務部長	常時	○	9月3日
協定	立ち入り検査の実施	代表取締役	常時	○	9月3日
	廃プラスチック埋立ゼロに関する協定	代表取締役	常時	○	9月3日

※評価日は環境管理責任者が目視および担当者に聞き取りした日、もしくは提出日です。



9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度も大きな事故がなく、つつがなく一年を終えることができました。ご安全にご協力ありがとうございます。売上ですが昨年度に比べ93%となっており、全体的に案件数が少なかったのが影響していると思います。コロナが収まりオフィス移転なども完了しており業界としても案件数が全体的に少なかったと見ておりますが積極的に営業をかけて頂き、仕事の取りこぼしや何かきっかけをつかめるようにアンテナを張るようにしてください。

今回の環境対策の活動に関しては電気代に関して一部目標値を下回った報告をもらっております。ただこちらに関してはすでに色々取り組みを行ったうえでの数値と聞いておりますので、大幅に上がらないように引き続き節電に取り組むように心がけてください。燃料や水使用量に関しては結果が良く出ており目標を達成しているなのでこの調子で安全運転とともに引き続き気をかけて業務にあたってください。

2025年の見直しのタイミングまで気を抜かず社員一丸で取り組み、電気使用料などこれ以上削減できないものや減らすことで業務に支障が出る場合に関しては中央値を取得し現状維持という形で取り組むことも視野に入れ行きましょう。こちらに関しても常にアンテナを張り無理なく節電できる案がありましたら、環境管理者に報告を上げるようにしてください。

10. 環境活動の現況



社外講習会、各種資格講習 年1回以上



消防訓練 年1回以上(自主訓練)



交通安全講習会 年1回



近隣の清掃活動 週1回(ボランティア活動)

11. 処理施設の概要

1) 東糞谷リサイクルセンター

■施設名称:株式会社アール・イー・ハヤシ リサイクルセンター

■延床面積:650㎡

■施設設置場所:東京都大田区東糞谷一丁目7番1号

■稼働時間:8:00~17:00

	産業廃棄物の種類	単独処理能力	混合処理能力	設置年月日	処理方式	構造及び設備の概要	許可証
破 碎	廃プラスチック類	4.5 (t/日)	29.7 (t/日)	平成10年11月23日	三軸スクルー 対向式破砕機	※粉塵の処理方法 破砕機投入口に散水装置を 設置し、粉塵の飛散を防止 している	産施 51009 号
	紙くず	12.2 (t/日)					
	繊維くず						
	ゴムくず						
	木くず						
	金属くず	33.4 (t/日)					
	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	22.7 (t/日)					
	がれき類	27.3 (t/日)					
圧 縮 梱 包	廃プラスチック類	20.56 (t/日)	-	平成24年7月2日	半自動 圧縮梱包機	※振動防止方法 床面にアンカーボルトで 堅固に設置している 床面は全面コンクリート敷き 車両及び重機は低速で走行 し過負荷運転を禁止している	
	紙くず	17.60 (t/日)					
	繊維くず	18.08 (t/日)					
	金属くず	66.00 (t/日)					

(1) 作業時間は原則として8時から17時までとする。

(2) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及びその他の関係法令を遵守すること。

(3) 中間処理は本部の承認を得た方法により行うこと。

2) 東糞谷リサイクルセンター 積替:保管施設

■施設名称:株式会社アール・イー・ハヤシ リサイクルセンター

■延床面積:650㎡

■施設設置場所:東京都大田区東糞谷一丁目7番1号

■稼働時間:8:00~17:00

保管する産業廃棄物の種類および保管量		
廃プラスチック、金属くず ガラス・コンクリート陶磁器くず (廃蛍光灯(水銀使用製品産業廃棄物)に限る)	汚泥、金属くず (廃乾電池(水銀使用製品産業廃棄物)に限る)	汚泥、金属くず (廃乾電池(水銀使用製品産業廃棄物を除く)に限る)
0.76㎡ (ドラム缶2個)	0.02㎡ (ペール缶1個)	0.02㎡ (ペール缶1個)
最大保管高さ 1.5m		
許可番号:第13-10-016683		

(1) 作業時間は原則として8時から17時までとする。

(2) 積替え保管を行う産業廃棄物の排出はすべて自らが行き、他人にこれを委託してはならない。

(3) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及びその他の関係法令を遵守すること。

(4) 「積替え保管は本部の承認を得た方法により行うこと。

12. 処理工程図

1) 株式会社アール・イー・ハヤシ リサイクルセンター 処理工程図

